

湯沢町文化財防火訓練を行いました

昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県斑鳩町）の金堂壁画が焼失したことを契機として文化財防火デーが制定されました。毎年1月26日を中心として文化財を火災、震災その他災害から守るため、全国的に文化財防火運動が行われております。

湯沢町では、昨年12月6日（土）に諏訪社にて、「諏訪社社殿で火災が発生し強風により飛び火し、町指定



文化財諏訪社の大杉が消失する危険性がある」という想定のもと防火訓練を実施しました。諏訪社役員や元住民の方による初期消火訓練、報訓練、非常持出訓練をはじめ、地元消防団の一分団による放水訓練が行われました。文化財は木造が多く、特に火災の危険にさらされています。貴重な文化財を未来に残すよう、皆さまも日頃から火の用心をお願いします。



高井宏行さんには
「瑞宝単光章」

この度、令和7年秋の叙勲において高井 宏行さん（愛宕）が消防防災活動における多年の功績により「瑞宝単光章」を受贈されました。

高井さんは、昭和56年に湯沢町消防団に入団し、以来34年の長きにわたりて第一線で活躍されました。平成23年からの4年間は、湯沢町消防団副団長を務めるなど要職を歴任し、町民の生命・身体・財産を守る活動に大きく貢献されました。

栄えある受章、おめでとうございます。今後もより一層の「」活躍を心からお祈りします。



**湯沢町消防出初式・町内
防火パレードを開催**

防災意識の高揚を図るー。

一月8日（木）、湯沢消防署にて「湯沢町消防出初式」を開催しました。

出初式は消防団員・職員が町民の安心と安全を誓い、防災意識の高揚を図ることを目的に行うものです。

式にて田村町長は、消防団員の皆さんへ日頃の消防団活動への取組、そして、消防署職員の皆さんへ消防活動や救急救命活動など、町の安心安全のために取り組んでいただいていることに対する感謝の気持ちを訓示の中でお伝えしました。

式終了後は、防火パレードを実施し、町民の皆さんに火災予防を呼びかけました。

